

宮崎夢柳 ミヤザキ ヨシキ 小説家。安政二年上佐國生れ、明治二十一年七月一

十二日歿（八十五八六）。本名宮崎安、幼名八尋。別號夢柳子、夢柳居士、

夢柳狂士、芙蓉、芙蓉散史。藩校致道館の學ぶ。明治十二年「高知新

聞」記者。十五年上京し、「自由燈」等の政治小説發表。十八年筆禍

下獄。のち「大阪日報」、「東雲新聞」記者。

著書 勤王 『高嶺の荒鷲』（夢柳居士名、渡邊表乃編、明治十九年十一月）

『月弘文館』、『事件志士列傳』（上編、明治二十年八月小塚義太郎出龍野周一郎出

版、大阪岡島新『讀心』中編、十一月小塚義太郎出版、大阪岡島實博爾

分社 文館『發兌』、『アレキサンデル、ヂエーターマ作』佛蘭西『革命記』自由『凱歌』青木嵩（明

治二十一年十一月二十三日盛業館）、吉田魁光作『散紅葉』（枚原、明

治二十一年十一月十八日大阪・盛業館、綺文館發兌）等。